

2016年(平成28年)7月13日(水曜日)

中 旬 新 聞

## 手頃な価格で最も良質な日本酒 飛騨・渡辺酒造店に栄冠



「グレートバリュー・アワード」受賞を喜ぶ渡辺社長(中央)＝ロンドンで(渡辺酒造店提供)

世界最大級ワイン品評会

世界最大級のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」のうち、日本酒を審査するSAKE部門で、渡辺酒造店(飛騨市古川町)が、手頃な価格で最も良質な酒に贈られる「グレートバリュー・アワード」を初めて受賞した。

SAKEは大吟醸、古酒、普通酒など九部門があり国内外三百四十六の製造元が計千二

百八十二銘柄を出品。五月に同店は「蓬萊天才杜氏の入魂酒」が普通酒の最高賞「トロフィー」を受賞していた。同アワードは、トロフィーに選ばれなかった銘柄のうち年間十

万本以上生産され、小売価格が千円以下であることが条件。創業時から販売する「小町桜」が上位二点の「グレートバリュー・サケ」に選ばれ、その中の最高賞「グレートバリュー・アワード」を受賞。地元産の酒米ひだほまれを使い、後味がすっきりしたタイプという。

七日に英国・ロンドンで授賞式があり、出席した渡辺久憲社長(四も)が会場で喜びのスピーチをした。九つのトロフィーの中から選ばれる「チャンピオン・サケ」は、山形県の銘柄「出羽の里」が受賞した。(島将之)